

新月伐採セミナー&ワークショップ

300年先の未来のために

日時: 2012年9月8日 13時から17時

場所: 小田原市いこいの森 きつつきホール

今春、小田原城天守を木造で建て替えたいという市民グループによるシンポジウムが開かれ 300人は超える人々が木造化の夢を追ってやってきました。そのシンポジウムを聞いて 300年先の未来に残せるものにするためには城の架構を支える木材を最高の状態で伐採、乾燥したものを供給しなければならないと思いました。

月のリズムに従って伐採する方法は世界中に伝承があり、15世紀のイタリアの建築の書物にもあります。オーストリアのアルビン・トーマは現代にその方法を復活させました。

私たちが長年積み上げた成果を小田原城天守実現の時に役立てる時が来ました。300年先の未来の為にすべきことは現認された記録を残すことです。ぜひこのセミナー&ワークショップに参加して300年先の未来をつなげましょう。

II セミナー&伐採ワークショップ:

A 市民参加で小田原城天守木造化に伴う木材の品質確保のための方法

- 1) 演題 『神奈川120年の森 優良木材を育てた諸戸林業』
講師: 中野敦之
- 2) 演題 『誰のための林業か、何のための林業家か』
講師: 安村直樹 (東京大学田無演習林 林長)
演題 『新月伐採の成果と現認記録(トレサビリティ)の意味』
講師: 増田正雄 (NPO 新月の木国際協会)
- 3) 演題 『メタサイエンスから見た新月の木と品質保証』
講師: 宮嶋 望 (北海道共働学舎 世界山のチーズ大会金賞受賞)

Q&A

B 小田原城天守木造化に伴う優良木材確保のための伐採法と現認記録の実習

- 1) 新月伐採の好ましい倒木方法
- 2) 新月伐採の履歴現認記録の実能

参加費 1500円

連携: 小田原城普請会議 NPO 伝統木構造の会小田原支部準備室

参加申込欄

申込者氏名 _____ 他 名 _____

所属先 (会社或いは団体) _____

申込者 電話番号 _____

メールアドレス _____

申込先 FAX 0465-66-1781 岩越

メール m.iwakoshi@suido.sakura.ne.jp

当日の連絡先 090-3509-0337 岩越



箱根方面から荻窪ICには降りられません。荻窪ICから4分
小田原駅西口3番から箱根登山バス
「いこいの森」行き約10分
当日11:40分の次は13時になります。小田原駅でお弁当をお求めになってお出かけください。